

メッセージアウトライン

日付	2012年3月18日
単元	サムエル記・1
テーマ	主は心を見る
タイトル	油を注がれたダビデ
テキスト	Iサムエル16章
参照箇所	
暗唱聖句	Iサムエル16:7 「人はうわべ・・・主は心を見る」

導入 いよいよダビデ登場です！彼はどのようにして王になったのでしょうか？

I 神さまはサムエルをエッサイのところに遣わされました(1-5節)

- A. サムエルはサウルを王にしたことを悲しんでいました
- B. 神さまはサムエルに「エッサイの息子たちの中に王を見つけた」と言われました
- C. サムエルはエッサイと息子たちを招きました



II 神さまはダビデを選ばれました(6-13節)

- A. サムエルは誰が神さまに選ばれたのかわかりませんでした
- B. 神さまは「人はうわべを見るが、主は心を見る」と言われました
- C. 神さまは、ダビデに油を注ぐように言われました



III ダビデはサウル王に仕えました(14-23節)

- A. サウルから主の霊がはなれ、悪い霊が彼をおびえさせました
- B. ダビデはサウルのけらいになりました
- C. ダビデが立琴をひくとサウルは元気になりました



結論 神さまは、ダビデをイスラエルの王に選びました

適用

神さまは、外見でなく、私たちの心を見てくださっています。ですから、身長や顔立ちなどはもちろん、みなさんの成績表や運動会の順位を見ているではありません。神さまはダビデの心を見て、王に選ばれました。では、神さまは、どんな心を見て喜ばれるのでしょうか？(ダビデの心はどんな心か？詩篇23・51・103篇などを讀もう)何でもご存じの神さまは、私たちの心がカンペキでないことはご存じです(エレミヤ17:9、きたない思い・ズルい考え・ねたみ・意地悪・高慢などがある)。それでも愛を持って心を見てくださるので、怖がることはありません。すぐに悔改める正直な心、弱くても神さまに頼る心などが喜ばれるのです。みんなも、人をうわべで判断しないようにしましょう。まず自分自身の外見や能力を見て、クヨクヨしたり、自慢したりしないようにしましょう。そして、お友だちに対しても同じです。教会に来ているとか、お祈りが上手にできるとかではなく、心がイエスさまに喜ばれることが大切なのです。



備考